



福井県家畜保健衛生所

〒918-8226 福井市大畑町 69-10-1

Tel: 0776-54-5104 Fax: 0776-54-5966

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kaho/index.html>

↑福井県家保 HP リンク

第64回全国家畜保健衛生業績発表会

令和5年9月28日(木)～29日(金)に第64回全国家畜保健衛生業績発表会が開催されました。各都道府県およびブロック(北海道東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中国四国、九州沖縄)で行われた業績発表会500演題の中から選出された48演題が発表されました。発表は第一部、「家畜保健衛生所の運営および家畜保健衛生の企画推進に関する業務」と、第二部、「家畜保健衛生所および病性鑑定施設における家畜の保健衛生に関する試験、調査成績」に分かれており、各都府県で農林水産大臣賞(1演題)、消費・安全局長賞(11演題)、全国家畜保健衛生業績発表会協賛会会長賞(1演題)が選ばれ表彰されました。

本県からは第二部で保健衛生課の山崎課長が「新生子牛の腸管外病原性大腸菌(ExPEC)による敗血症症例の分子生物学的検索」として、迅速な診断や衛生対策につながる検査方法について発表しました。

農林水産大臣賞を受賞した2演題

第一部「成鶏出荷用ラックとコンテナを使用した新たな殺処分方法の検討と実践」

茨城県北家畜保健衛生所 石田 祐貴

令和2年度に県内大規模採卵鶏農場で高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)が発生し殺処分に苦勞したことから、出荷用ラックとコンテナを使用した『コンテナ法』を検討。生体を用いた事前検証を重ね、令和4年度のHPAI発生事例から実践。従来の殺処分方法である『台車方法』と比較したところ、1時間当たりの殺処分羽数増加、殺処分に要した日数短縮、使用した炭酸ガスボンベ本数低減に繋がった。

<感想>昨年度の茨城県HPAI防疫作業に参加して実際にコンテナ法を経験したが、非常に効率良く、工夫されていた。

第二部「様々な創意工夫により効率的に取り組んだ牛のサルモネラ検査対応」

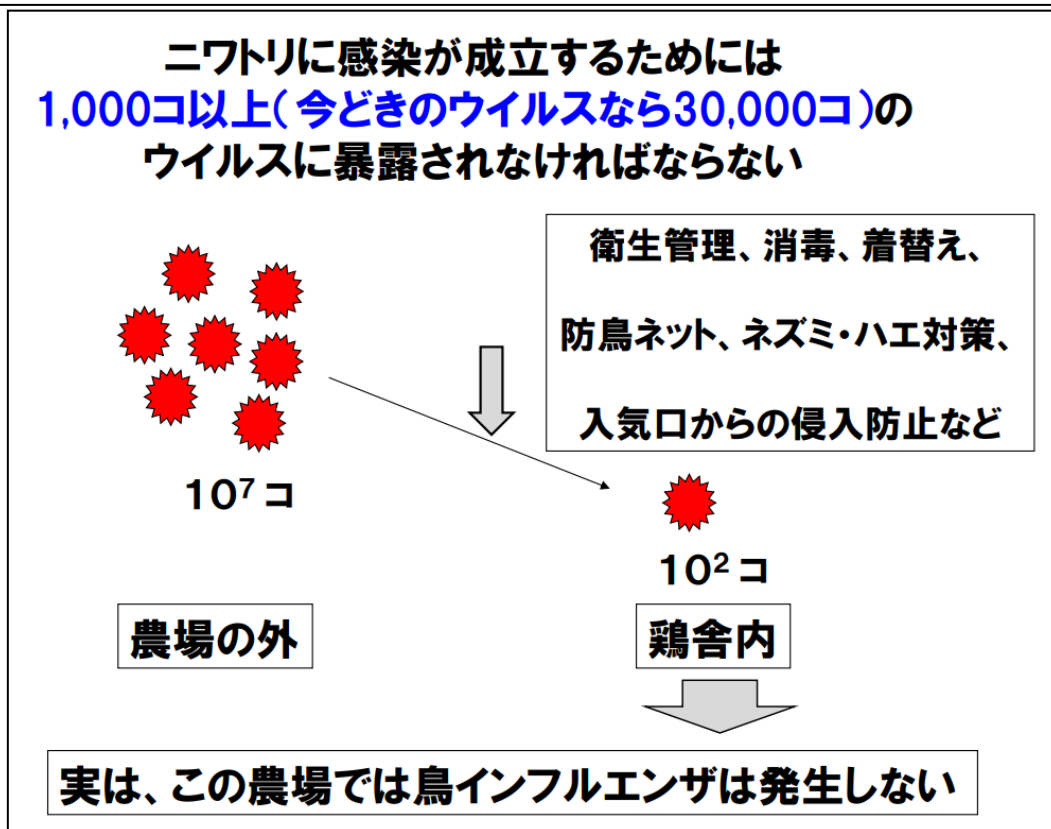
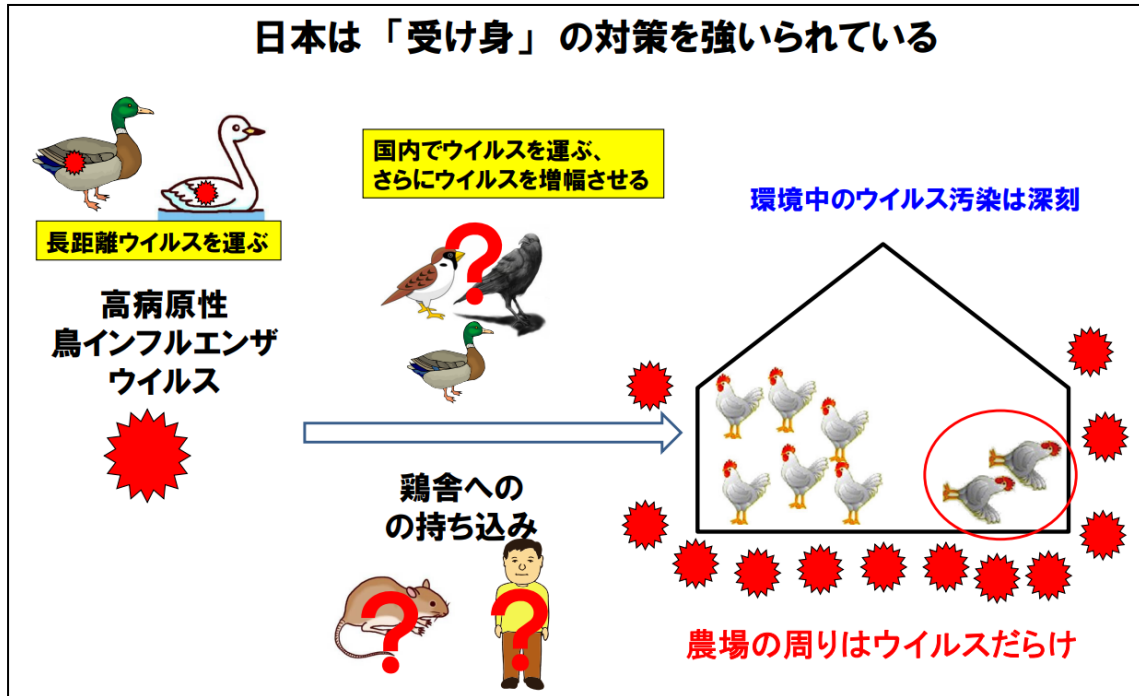
北海道釧路家畜保健衛生所 藤原 正俊

サルモネラ検査用の半流動培地の寒天濃度を調整し、穿刺培養に適用させた Modified Semi-solid Rappaport Agar for stabculture (MSRAsc)法を開発、高い分離能を有することを確認。さらに、抗原抗体反応による選択濃縮を考え96穴プレートを使用し多検体処理可能な免疫プレート法を開発。検査にかかる時間や必要培地枚数が大幅に減少し、効率的な検査を行っている。

<感想>週に3,000検体持ち込まれることがある多忙な中で、新しい検査法を開発しさらに論文にして報告済みということで、効率化に対する熱意と膨大な仕事量に感嘆した。

家畜の飼養衛生管理について

家畜を病気から守るためには、病原体を「持ち込まない、拡げない、持ち出さない」ことが重要です。そのためには、衛生管理区域の内外・畜舎の内外を行き来するときは特に気を付ける必要があります。外界には多くの病原体が存在しますが、持ち込まれる病原体の数を減らすことで病気の発症を防ぐことができます。今回は病原体を減らす取り組みについて鳥インフルエンザを例に、いくつかの対策を紹介します。



(上記スライドは北海道大学 迫田教授提供)

上の図のように消毒、着替え、防鳥ネット、ネズミ対策など、1つの対策で、鶏舎内へ持ち込むウイルス量を10分の1ずつ減少できる!

→ 1つ1つの対策を積み重ねて、鳥インフルエンザの発生を防止しましょう!!

❓ 具体的には何をしたらいいの？

✔️ 専用の衣服・長靴の使用、手指の消毒をしましょう。

畜舎が複数ある場合には、それぞれの畜舎ごとに用意する必要があります。畜舎に入る前に、すのこ等でスペースを確保して、そこで着替え・履き替えを行うようにすると、内と外の動線が簡単に分けられます。スペースが確保できない場合でも、畜舎の入り口に蓋のできる箱を設置して、その中に長靴を消毒液に浸けておき、入る際に履き替えるようにすると病原体の持ち込みを抑えることができます。手指の消毒と同様に、長靴を消毒液に浸ける前にはしっかりと糞等の汚れを落としましょう。



✔️ 畜舎の修繕、畜舎周囲の除草・整理整頓をしましょう。

ネズミやカラスが侵入しないよう畜舎の修繕、防鳥ネットの設置は重要です。また、ネズミ等は病原体を持ち運ぶことが知られています。草が伸びている、物が散乱している状態だと、野生動物が身を隠しながら簡単に畜舎に侵入してきます。周囲を野生動物が嫌う環境にすることで、近づかせないようにしましょう。また、足にもものが付くのも嫌がりますので、周囲に消石灰を撒くことも有効です。



今回は鳥インフルエンザを例に紹介しましたが、牛、豚、めん山羊などの伝染性
疾病も同様の対策が有効です。農場の衛生対策の参考にしてください。

乳牛とカルシウムのお話

牛乳にはカルシウム（Ca）が含まれ、私たちも栄養食品としていただいています。血液から乳が作られるため、血液中の Ca が消費されます。血液の Ca 濃度を保つため、エサから吸収したり、骨から補充されたりします。

分娩後の急激な Ca の消費に補充が追いつかず、低 Ca 血症いわゆる乳熱になる母牛も一部みられます。乳熱でよく知られているのは肢の麻痺による起立困難ですが、低 Ca 血症で必ずしも肢が麻痺するわけではないようです。

Ca は筋肉が動く（収縮する）ために必要な物質です。体にある筋肉には、消化管や血管にある平滑筋と、肢などの骨格筋があります。骨格筋にはある程度 Ca が貯蔵されていて急激な影響は受けませんが、平滑筋は貯蔵できず、影響を受けやすいといわれています。平滑筋が収縮できないと、胃や腸管運動が悪く食欲不振になり、また、血圧が維持できず末梢の血の巡りが悪くなります。乳熱で皮温が低下するのはこのためです。生命維持のため脳への血流が優先され、大腿部の筋肉が虚血状態となり起立困難となるそうです。また、虚血が続くと筋肉自体に傷害が起こり、起立不能となってしまいます。

3産目以降の牛は泌乳量増加で Ca 消費が増える一方、血液へ Ca を補充する能力が下がると言われています。特に、高産次の牛に注意し、血液検査等で低 Ca 血症を確認して早期に適切な治療を受けましょう。

（雑誌 臨床獣医 2020 年 4 月号より）



県内における主な家畜伝染性疾病の発生状況

畜種	病名	発生戸数	発生頭羽数 [※]
乳用牛	牛伝染性リンパ腫	1	1
肉用牛	牛クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症	2	2
豚	豚胸膜肺炎	1	4
	豚レンサ球菌症	1	2
	豚増殖性腸炎	1	3
	豚増殖性腸炎と豚クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症の混合感染	1	1
	豚クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症	1	1

（令和5年6月1日～令和5年9月30日）

※病性鑑定を実施した頭羽数